

| | | | | | | | |
|-------------|--|---------------|----------------------|------|----------|-----------|----------|
| 分野 | 専門分野 | 科目名 単位（時間） | 母性看護学概論 1単位（15時間） | 授業形態 | 講義 演習 | 開講時期 | 1年 後期 |
| 講師名 所属 | 山本 真由美 嬉野医療センター附属看護学校 教育主事 | | | | | | |
| 授業概要 | 人間を身体的・精神的・社会的・性的に統合された存在として理解し、生と性、性と生殖の観点から多様な価値観に基づく性的健康について学ぶ。母性看護学における看護の対象は「女性」「母親」に限局せず、人間のライフサイクル各期におけるあらゆる健康レベルのすべての人びとである。性に関する概念や考え方は看護の対象の環境（社会や時代背景）が影響しており、看護の対象個人の問題としてだけでなく広くとらえることが必要である。また、看護の対象が健康でその人らしく生きるための支援についてライフサイクル各期の特徴と健康ニーズを理解し、保健・医療・福祉の連携・協働によって健康レベルを促進することを学ぶ。ライフサイクルの中では妊娠・出産・育児は最も健康レベルが変化しやすいため、母体と胎児・新生児のケアが重要であり、保健・医療・福祉の連携・協働とともに地域をまきこんだ援が必要である。これらの看護ニーズについて学ぶ内容であり、小児看護学概論、成人看護学概論、老年看護学概論、精神看護学概論、地域・在宅看護論と並行しながら学ぶ。 | | | | | | |
| 科目目標 | <ol style="list-style-type: none"> 母性看護の基礎となる性や健康に関する概念を理解する 看護の対象の健康の意義および健康に影響を及ぼす要因を理解する 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷及び現状を理解する 看護の対象のライフサイクル各期の特徴と看護を理解する 自己の生と性、性と生殖に関する価値観を考える機会とする | | | | | | |
| テキスト | 系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院 | | | | | | |
| 参考文献 | 国民衛生の動向 厚生統計協会 | | | | | | |
| 評価方法 | 詳細は別紙「評価計画」参照 | | | | | | |
| | 筆記 | ○ | レポート | ○ | 口頭試問 | 授業態度・出席状況 | ○ |
| 学修に向けたメッセージ | 私たちが性について他者と語る機会は少ない。しかし、性に関する価値観は、社会的人間としてよりよく生きるためのアイデンティティあり、多様である。誰もが干渉や束縛、搾取されることなく、自分の価値観で生き方を選択し、よりよく生きることは私たちの権利のひとつである。母性看護学といえば、女性の妊娠・出産・育児のイメージが強いが、母性看護学では看護の対象を広くとらえ学ぶ。また、自分自身とその周囲の人々の性的存在としての健康と幸福について考えてみてほしい。 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 回数 | 講義内容 | | | | 教授・学習方法 | | 担当講師 |
| 1 | <ol style="list-style-type: none"> 性と生、性と生殖に関する概念とその現状 <ol style="list-style-type: none"> 性に関する概念の理解 <ol style="list-style-type: none"> セクシュアリティ 性に関する価値観の多様性 性の発達・成熟・継承 | | | | 講義・演習 | | 山本 真由美 |

| | | | |
|---|---|------------------------------|---------------------|
| | <p>2) 性と生殖に関する健康と権利の理解</p> <p>(1) リプロダクティブヘルス</p> <p>(2) リプロダクティブヘライツ</p> <p>3) 性と生殖に関する価値観の変遷と現状</p> <p>演習課題：映画や雑誌などの教材の中に描かれる性と生殖に関する価値観について私見を明らかにする</p> | | |
| 2 | <p>2. 母性看護の対象を取り巻く社会環境の変遷と現状</p> <p>1) 母性看護の対象</p> <p>2) 母性看護の対象を取り巻く社会環境</p> <p>3. 母性看護の変遷と現状</p> | 講義 | 山本 真 由美 |
| 3 | <p>4. 母性看護の対象理解</p> <p>1) 身体的・精神的・社会的・性的存在としての理解</p> <p>2) 母性における健康の概念と健康レベル</p> <p>3) ライフサイクルの特徴とヘルスプロモーション</p> <p>4) 母性をめぐる家族・集団・コミュニティ</p> | 講義 | 山本 真 由美 |
| 4 | <p>5. 母性のライフサイクルにおける健康支援</p> <p>1) ライフサイクルにおける母性の特徴</p> <p>2) ライフサイクル各期における課題と健康レベル</p> | 講義 | 山本 真 由美 |
| 5 | <p>5. 母性のライフサイクル各期における健康支援</p> <p>3) ライフサイクル各期の健康問題と健康支援</p> <p>4) セルフケア能力とヘルスプロモーション</p> <p>演習課題：ライフサイクルの中で変化が著しい思春期、更年期、老年期における健康課題とその健康支援についてレポートを作成する</p> | 講義・演習 グループワーク & プレゼンテーション | 山本 真 由美 |
| 6 | <p>6. 母性の健康レベルに応じた支援と社会資源</p> <p>1) 母性に関する保健・医療・福祉制度と関連職種</p> <p>2) 健康レベルに応じた保健活動と関係法令</p> <p>3) 健全母性育成と地域・コミュニティのあり方</p> | 講義 | 山本 真 由美 |
| 7 | <p>7. 母性看護における倫理</p> <p>1) 母子看護における安全・事故防止</p> <p>2) 母性看護における倫理的課題と支援のあり方</p> <p>演習課題：母性をめぐる倫理的課題(問題)の中からテーマを選び、肯否の立場から倫理的課題の本質に迫る</p> | 講義・演習 討議 | 山本 真 由美 |
| 8 | 終講試験 | 試験(評価) | 単位認定者 山本 真 由美 |